

金信松高

リーダーズクラブ発足

140人、地域経済の発展誓う

高松信用金庫（高松市）

が新たに立ち上げた会員制の経営者組織「たかしんリーダーズクラブ」の発足式が13日、高松市のホテルで行われた。同クラブは約190社の経営者らが会員登録。式では、企業間交流やセミナーなどを通じ、事業承継や販路拡大などの経営課題解消を図るとともに、地域経済の発展に貢献することを誓い合った。

同クラブは4月設立。経営者組織の支援事業を手がけるインクグロウ（東京）と連携し、経営論に関するセミナーの開催やホームページの作成、補助金紹介、人材採用支援などのサービスを提供する。同信金によ

ると、本格的な経営者組織の設立は初めて。会長は日進堂（高松市）の喜久山知哉社長が務める。

発足式は会員企業の代表者や来賓ら計約140人が出席し、同信金の大橋和夫理事長が「出会いと学びを創出するクラブ。高松信金ならではの企業に寄り添う支援で、地域ナンバーワンの組織を目指したい」とあいさつ。南極地域観測隊の元調理隊員による記念講演や懇親会を行い、新組織の

高松信用金庫が立ち上げた「たかしんリーダーズクラブ」の発足式―高松市のホテル



スタートを祝った。

クラブは今後、事業承継や人材採用、業務効率化などをテーマにしたセミナーを年10回以上のペースで開く予定。会員間の工場見学や定期的な交流イベントなども計画している。